

日本で難民問題を考える

2022年6月2日

AAR Japan [難民を助ける会]

穂積 武寛

AAR Japan[難民を助ける会]について



- 故相馬雪香が「インドシナ難民を助ける会」として1979年に設立
- 日本で設立された国際協力分野のNGOとしては最も歴史が長い団体のひとつ
- 予算規模・職員数ともに、日本の国際協力NGOとしては最大級
- 難民支援・地雷対策・障がい者支援が主要な事業分野
- 国内でも大規模自然災害時の緊急支援、難民・避難民支援を実施



昨年から今年にかけて
「難民・避難民」がキーワードのニュースが相次いだ









シリア難民支援



ミャンマー避難民(ロヒンギャ)支援



ミャンマー避難民(ロヒンギャ)支援



ウクライナ避難民支援





国内での難民・避難民支援



「難民」とは？

国際法(難民条約※)上の定義

- ①人種、宗教の違い、もしくは特定の集団のメンバーであること、政治的意見の違いなどの理由から
- ②迫害される恐れがあり、
- ③自分の国の政府の保護を受けられない、または受けることを望まないために、
- ④自分の国を離れている人々

※難民条約:「難民の地位に関する条約(1951年成立)」と「難民の地位に関する議定書(1967年成立)」の2つをあわせた呼称

「故郷に安心して住めず、支援を必要としている人」 世界に何人いる？

- 難民： 2,640万人
- 国内避難民： 4,800万人
- 庇護希望者： 410万人
- その他(ベネズエラ避難民)： 390万人
- **合計： 8,240万人**

(2020年末時点、出典：UNHCR)



「難民問題を考える」とは？



日本はこれまでに
12,000人以上
「自分の国へ帰れない人々」
を受け入れている



© UNHCR/8268/1978/K.Gaugler

出典： 難民事業本部

その他にも

- ◆ 日本には、外国人が約290万人暮らしている
- ◆ うち170万人は就労している



難民が直面する様々な問題

- ◆ その国の言葉が理解できないので、情報へアクセスできない
- ◆ 外国人や宗教について、誤解や差別がある
- ◆ 友だちや、悩みを相談できる人が少ない
- ◆ 子どもたちが学校の勉強についていけず、苦勞することが多い
- ◆ 仕事が見つかりにくい → 苦しい生活になりやすい



さぽうと21による学習支援



難民かもしれない友だちが おとなりに／同じクラスに来たら？



なまえ： ヌール

生まれた国： シリア

- ・日本に来てまだ1年ちょっと
- ・日本語はまだまだニガテ
- ・家族とはアラビア語
- ・イスラム教を信じている
- ・「シリアには戦争で住めなくなった」
- ・自分が難民かどうかはよく知らない

①ヌールさんは日本での学校生活で、どんなことに困ると思いますか。3つ挙げてください。

②それらを解決して、ヌールさんが有意義な学校生活を送れるようにするために、みなさんができることは何ですか。



- 「難民の国際法上の定義」は、(少なくとも民間レベルでの対策を考えると)問題の本質の部分ではない
- 今、そこにいる人が(難民だろうと、避難民だろうと)、その人なりの幸せな生活を送るのに支障をきたしているとすれば、そのハードルを下げる努力は行われるべき
- 「8,000万人の難民をどうするか」という問題設定は重過ぎるが、「目の前の人のために、自分は(自分の所属する組織は)何ができるか」に集中すれば、アイディアは出てくる(はず)
- 難民問題を考える、とは「文化的・言語的背景の違う人を日本社会にどう迎え入れていくか」を考えること

それぞれができることを考えていきましょう！

